

第5章

活力ある産業が育ち

にぎわいと交流が生まれるまち すずか



◆第5章体系図

めざすべき都市の状態	施策	単位施策
18 ものづくり産業が元気で、活気にあふれていること	181 産業集積の基盤整備と企業誘致の推進	1811 企業誘致の推進
		1812 次世代自動車の普及・促進
	182 企業の高度化・高付加価値化の推進	1821 企業の高度化支援
		1822 中小企業の経営基盤強化
19 自然の恵みを活用した産業の地産地消が進み、活力にあふれていること	191 第一次産業の活性化	1911 地元農林水産物の消費拡大の推進
		1912 農林漁業関連施設の充実と担い手の育成
		1913 農林漁業者への経営支援の促進
		1914 多面的機能が発揮できる農山漁村の環境づくり
		1915 農業生産基盤の整備促進
		1916 地域農業と経営基盤づくり
20 生活に関わる商いが元気で、まちがにぎわっていること	201 消費活動の更なる活性化推進	2011 商店街の活性化促進
		2012 商業者の経営健全化促進
		2013 消費者保護の推進
21 地域の中で雇用の場が確保され、いきいきと働いていること	211 誰もが安心して働ける労働環境づくり	2111 雇用環境の整備と就業の場の確保
		2112 勤労者福祉の増進
22 地元のモノ・コトが情報発信され、人が訪れ、交流が進んでいること	221 地域資源の活用による集客・交流人口の増加	2211 地域資源の活用の促進
		2212 観光などによる集客・交流の促進
		2213 モータースポーツの振興促進

めざすべき都市の状態 18

「ものづくり産業が元気で、活気にあふれていること」

■成果指標 1：製造品出荷額

現状値 (2015年度)	14,590億円 (2013年度)	目標値 (2023年度)	15,650億円
-----------------	----------------------	-----------------	----------

現 状 認 識

基幹産業である自動車産業の製造品出荷額は、全体の7割を占めることから、本市の産業の成長は、自動車産業の動向に左右されやすくなっています。

本市は、道路交通網の整備が進むことにより、企業の投資の拠点になり得るなど、高いポテンシャルがありますが、工業団地などの企業適地が不足しています。

また、企業の新設・増設などを支援する奨励制度については、地域間競争に優位性を持たず制度となっていません。

将来展望を踏まえた課題

今後、整備が進む道路網を生かした成長産業などの企業立地促進、立地企業及び既存企業への支援などにより、地域特性を生かした産業集積の促進を図り、地域経済の自立的发展を支えるとともに、地域間競争に対応できる産業の振興を図ることが課題です。

行政の使命（ミッション）

これまでに培ってきた、ものづくり技術力の更なる強化に加え、消費者ニーズの多様化や企業のグローバル化など、時代の変化を捉えた奨励制度を整備し、今後進められる道路インフラの整備により高まるポテンシャルを生かした産業集積の基盤整備と、時代を担う新たな産業の創出と人材育成、新技術・新製品の開発を支援します。

施策－１８１：産業集積の基盤整備と企業誘致の推進

－担当部：産業振興部－

【施策の概要】

工業用地などの集積基盤の整備を推進し、新たな企業の誘致を図ります。

本市の基幹産業である自動車産業を中心とした、ものづくり技術力をはじめとする、地域特性を生かした産業集積を促進します。

◇単位施策－１８１１：企業誘致の推進

－担当課：産業政策課－

目 的		グローバルな都市間競争に対応できるよう、新たな企業を誘致し、足腰の強い産業構造を構築するとともに、その産業集積に向けた産業基盤整備を行い、産業の活性化を図ります。		
概 要		ものづくりのまちとして、あり続けるため、自動車産業を基軸とした産業のほかに、次世代産業の立地誘導、研究開発機能の強化を進め、そのために民間活力を利用するなどした工業団地などの産業基盤の整備を促進します。		
成果指標	指標名	新規立地企業数（累計）	目標値 （2019年度）	10社
	指標設定理由	新たな企業を誘致することは、足腰の強い産業構造の構築につながるため。	現状値 （2015年度）	0社※
単位施策を推進する個別の計画		鈴鹿地域産業活性化基本計画		

※現状値…目標値を前期基本計画中の累計としていますので、前期基本計画の始期における数値として「0社」としています。

◇単位施策－１８１２：次世代自動車の普及・促進

－担当課：産業政策課－

目 的		次世代自動車の普及による新たな市場の創出と市場ニーズに対する技術開発を促進します。		
概 要		次世代自動車の市場投入を踏まえ、水素供給設備などのインフラ整備を行い、低炭素社会の実現に向けて、産学官連携による技術開発を促進します。		
成 果 指 標	指標名	水素供給設備数（民間によるものを含む）（累計）	目標値 （2019年度）	3箇所
	指標設定理由	水素供給設備などのインフラ整備が進むことは、次世代自動車の普及に係る技術開発を促進することにつながるため。	現状値 （2015年度）	0箇所
単位施策を推進する個別の計画		鈴鹿地域産業活性化基本計画		

施策－１８２：企業の高度化・高付加価値化の推進

－担当部：産業振興部－

【施策の概要】

企業の技術力高度化，販路開拓支援，経営支援などを通じて，本市の産業を支える企業の高付加価値化を促進します。

市内企業が行う新技術・新製品開発に対する支援を行うことにより，研究開発型企業を育成するとともに，ものづくり技術の高度化・高付加価値化を促進し，市内産業の活性化を図ります。

高度技術開発の促進，持続可能な企業経営の促進，地域産業を担う人材の育成などにより，経営・技術革新の促進を図り，時代潮流の変化に的確に対応しながら，中小企業が持続的に発展していくための経営資源確保に対して支援を行います。

◇単位施策－１８２１：企業の高度化支援

－担当課：産業政策課，地域資源活用課－

目 的		企業によるものづくり基盤技術に関する高度化・高付加価値化，研究開発及びその成果の利用を促進し，国際競争，地域間競争の優位性につなげます。		
概 要		・技術的な支援を必要とする企業とのネットワークを構築し，高等教育機関の技術シーズ ^{※1} を活用するなどして基盤技術の高度化を支援することにより，新技術開発や新製品開発，人材の育成を促進します。		
成果指標	指標名	新技術開発などに係る助成採択件数（累計）	目標値 （2019年度）	12社
	指標設定理由	助成採択件数の増加は，企業の高度化・高付加価値化につながるため。	現状値 （2015年度）	0社 ^{※2}
単位施策を推進する個別の計画		鈴鹿地域産業活性化基本計画		

※1 技術シーズ…研究開発や新規事業創出を推進していく上で必要となる発明（技術）や能力，人材，設備などのこと。

※2 現状値…目標値を前期基本計画中の累計としていますので，前期基本計画の始期における数値として「0社」としています。

◇単位施策－１８２２：中小企業の経営基盤強化

－担当課：産業政策課－

目 的		中小企業の経営を安定させ、より生産性を向上させます。		
概 要		・地域産業の基盤や雇用確保の面で、重要な存在である中小企業に対し、人材育成、技術・経営相談、新たな事業展開など、様々な側面における支援を行います。 ・工事の発注、物品及び役務の調達などに当たっては、中小企業者の受注を促進します。		
成 果 指 標	指標名	経営基盤強化のための支援を受けた中小企業の件数	目標値 (2019年度)	150件
	指標設定理由	支援を受けた企業の件数が増加することは、中小企業の経営安定や生産性の向上につながるため。	現状値 (2015年度)	132件 (2014年度)
単位施策を 推進する 個別の計画		鈴鹿地域産業活性化基本計画		

めざすべき都市の状態 19

「自然の恵みを活用した産業の地産地消が進み、活力にあふれていること」

■成果指標 1：鈴鹿市産の食料品を普段から意識的に購入している市民の割合

現状値 (2015年度)	67.1%	目標値 (2023年度)	75.0%
-----------------	-------	-----------------	-------

現 状 認 識

第一次産業を活力にあふれた産業とするために、これまでソフト事業とハード事業を併せて推進してきましたが、農林漁業を取り巻く状況は、農林業者、漁業者の減少、農地の荒廃化、所得の減少など厳しい状況が続いています。

また、産業としての持続可能性喪失の危機や農林漁業集落の高齢化・過疎化の危機を招いているとともに、施設などの老朽化が進行しています。

将来展望を踏まえた課題

活力に満ちた第一次産業の実現をめざすため、農林漁業者の新規就業者の確保・育成、優良農地の確保と利用集積、生産基盤の維持・強化をより一層進める必要があります。

行政の使命（ミッション）

農林漁業者一人ひとりの生産効率を高め、集落を維持・発展させ、第一次産業を活性化させるために、人づくりを含めた生産基盤を強化するとともに、農林水産物の地産地消をはじめとした消費拡大を推進します。

施策－１９１：第一次産業の活性化

－担当部：産業振興部，農業委員会事務局－

【施策の概要】

第一次産業の成長化を図るために農商工連携の下，農地や施設など生産基盤の維持・整備と消費拡大につながる特産物振興，六次産業化への取組支援，情報発信などを推進します。

◇単位施策－１９１１：地元農林水産物の消費拡大の推進

－担当課：農林水産課－

目 的		消費者の食に対する需要の多様化が進む中，地元の農林水産物が地元を中心として，県内，国内，国外で消費されるよう，より効果的な生産販売施設の整備と消費の拡大を推進します。		
概 要		・安全・安心な学校給食への食材提供を含めた地産地消を生産者及び生産者団体と連携の下，推進します。 ・生産力強化のため，農地や施設などの維持・整備を行います。 ・消費拡大のための特産物振興，六次産業化への取組支援，情報発信を行います。 ・農商工連携の下，第一次産業の活性化を図ります。		
成果指標	指標名	主穀*中心経営農家の平均耕作面積	目標値 (2019年度)	20.0ha
	指標設定理由	本市の主要農産物である米などの穀物類を中心に生産する主穀中心経営農家の耕作面積の増加は，農地の集積，集約化進展の表れであり，経営の効率化，作種・生産量・生産物の増加につながるため。	現状値 (2015年度)	14.5ha
単位施策を推進する個別の計画		第２次鈴鹿市農業基本計画 鈴鹿市地産地消推進計画 鈴鹿市水田フル活用ビジョン		

※主穀…主食とする穀物のことであり，主に米・麦・とうもろこしのこと。

◇単位施策－１９１２：農林漁業関連施設の充実と担い手の育成

－担当課：農林水産課－

目 的		農林漁業の担い手を確保・育成するとともに、施設の充実を行うなど、生産環境を整えるとともに生産効率を高めることで、第一次産業を持続的に維持できるようにします。		
概 要		・認定農業者、新規就農者など育成すべき対象を明らかにし、金融・補助などの支援措置を集中化・重点化することで、後継者や担い手、新規就農者・就業者の確保・育成を図ります。 ・農林漁業関連施設・設備について、点検、維持修繕を適時に行うことにより保全するとともに、必要に応じた整備を行います。		
成 果 指 標	指標名	認定農業者※数（累計）	目標値 （2019年度）	250人
	指標設定理由	認定農業者が増えることは、担い手となる農業者が確保され、農業が持続的な産業となることにつながるため。	現状値 （2015年度）	224人 （2014年度）
単位施策を 推進する 個別の計画		第2次鈴鹿市農業基本計画		

※認定農業者…農業経営基盤強化促進法に基づく農業経営改善計画の市町村の認定を受けた農業経営者・農業生産法人のこと。

◇単位施策－１９１３：農林漁業者への経営支援の促進

－担当課：農林水産課－

目 的		農林漁業者への経営相談や経営支援を行うことにより，効率的で安定的な経営が行えるようにします。		
概 要		・制度資金貸付及び利子補給を行います。 ・経営支援及び経営安定化支援を行います。		
成 果 指 標	指標名	農業近代化資金利子補給件数	目標値 (2019年度)	350件
	指標設定理由	資金貸付制度の活用が進み，担い手が効率的かつ安定的な経営を行うことは，農林漁業の所得の向上につながるため。	現状値 (2015年度)	334件 (2014年度)
単位施策を 推進する 個別の計画		第２次鈴鹿市農業基本計画		

◇単位施策－１９１４：多面的機能が発揮できる農山漁村の環境づくり

－担当課：農林水産課－

目 的		農地や森林などの生産基盤の適正な管理・保全や、治水や景観形成などの対策を行い、農地や農村の持つ多面的機能が発揮できるようにします。		
概 要		・農地の利用集積・集約を図ることにより効果的な農林業の振興を図ります。 ・優良農地を保全するための施策を推進し、農業振興地域の整備を図ります。 ・有害鳥獣対策や海岸漂着物除去対策などにより、森林や農地、海の環境を保全することで、多面的機能の維持を図ります。 ・各種産品を拡充させ、それぞれに産地化、特産物化、高付加価値化を推進することで、生産母体である農林漁業関連組織などの充実に向けて支援します。		
成 果 指 標	指標名	農地を有効に利用するために担い手に集積した割合※	目標値 (2019年度)	35.0%
	指標設定理由	農地中間管理事業・農用地利用集積などによる農地流動化の進展は、農山漁村の維持・発展につながるため。	現状値 (2015年度)	30.7% (2014年度)
単位施策を推進する個別の計画		第２次鈴鹿市農業基本計画 鈴鹿市農業振興地域整備計画 鈴鹿市鳥獣被害防止計画		

※農地を有効に利用するために担い手に集積した割合…

農地流動化率に当たる。農地流動化とは、担い手の農業経営の規模拡大、効率化を図るために、農地に短期利用権を設定し、利用集積、集約すること。

◇単位施策－１９１５：農業生産基盤の整備促進

－担当課：耕地課－

目 的		農業者が効率的な生産を行うことができるように、農業生産基盤の整備を促進します。		
概 要		・土地改良，基盤整備，農業用施設を整備します。 ・用水確保，水路・ため池整備及び災害復旧を行います。 ・農地の多面的機能の確保を図ります。		
成果指標	指標名	農地の区画整理（ほ場整備）をした面積（累計）	目標値 (2019年度)	2,900ha
	指標設定理由	農業生産基盤の整備は，経営効率を向上させ，担い手の効率的な経営につながるため。	現状値 (2015年度)	2,850ha (2014年度)
単位施策を推進する個別の計画				

◇単位施策－１９１６：地域農業※と経営基盤づくり

－担当課：農業委員会事務局－

目 的		農業者が農地の有効利用を図り，安定した農業経営を営むことができるように，農地の情報管理を行うとともに農業者年金制度を推進します。		
概 要		・農地の情報管理を行います。 ・優良農地の維持と利用促進を行います。 ・耕作放棄地の解消推進をします。 ・農業者年金を推進します。		
成 果 指 標	指標名	耕作放棄地面積	目標値 (2019年度)	400ha
	指標設定理由	耕作放棄地の予防・解消は，農地の有効利用と安定した農業経営につながるため。	現状値 (2015年度)	450ha
単位施策を 推進する 個別の計画				

※地域農業…作物や基盤整備状況など地域の特性を生かした農業のこと。

めざすべき都市の状態 20

「生活に関わる商いが元気で、まちがにぎわっていること」

■成果指標1：日用生活品を主に市内で購入している市民の割合

現状値 (2015年度)	93.6%	目標値 (2023年度)	95.0%
-----------------	-------	-----------------	-------

■成果指標2：小売吸引力指数

現状値 (2015年度)	1.04 (2012.2.1現在)	目標値 (2023年度)	1.07
-----------------	----------------------	-----------------	------

現 状 認 識

大型店や複合型商業施設の出店により、市内の商業全体を取り巻く環境は大きく変化しています。これらの施設は、市外からも多くの集客を有する魅力ある施設として、市内の商業活動を牽引しています。

一方、販売競争の激化や消費行動の多様化などにより、市内の企業・事業者数が減少傾向にあり、商店街においては組織の弱体化が懸念されるなど、個店にとっては厳しい環境となっています。

将来展望を踏まえた課題

大型店や複合型商業施設により高まっている集客力を、今後も維持していく必要があります。

また、変化する環境に対応できる中小企業などを増加させ、商店街の活性化を再現するための支援施策を講じる必要があります。

行政の使命（ミッション）

商工会議所や関係機関・団体と連携し、中小企業や商店街が健全で安定した経営を行えるよう支援し、集客力の向上を図ります。

また、大型店や複合型商業施設の集客力を生かした、にぎわいのあるまちづくりを行います。

施策－２０１：消費活動の更なる活性化推進

－担当部：産業振興部－

【施策の概要】

市内の中小企業や商店街による、魅力ある商品（サービス）の提供やにぎわいの創出を支援し、市内での消費活動の拡大に取り組みます。

◇単位施策－２０１１：商店街の活性化促進

－担当課：産業政策課－

目 的		商店街の振興をめざす団体などが、自ら積極的に商店街のにぎわいを取り戻す事業を活発に行える体制を支援します。		
概 要		・商店街などの実施する活性化促進事業の資金支援を行います。 ・商店街などの実施する共同施設設置事業の資金支援を行います。		
成 果 指 標	指標名	活性化促進事業を実施している商店街数	目標値 (2019年度)	9件
	指標設定理由	商店街などの活性化促進事業実施数の増加は、市内のにぎわいの創出につながるため。	現状値 (2015年度)	7件
単位施策を推進する個別の計画				

◇単位施策－２０１２：商業者の経営健全化促進

－担当課：産業政策課－

目 的		市内商業者などが安定した経営を行える体制を支援します。		
概 要		・ 鈴鹿商工会議所と連携し、市内商業者などの経営の健全化のための資金支援、後継者育成などのソフト事業を行います。		
成 果 指 標	指標名	商工会議所に加盟する商業者数（累計）	目標値 （2019年度）	1,050事業所
	指標設定理由	商工会議所の加盟数が増加することは、経営指導や相談による経営健全化が図られることにつながるため。	現状値 （2015年度）	1,021事業所
単位施策を推進する個別の計画				

◇単位施策－２０１３：消費者保護の推進

－担当課：産業政策課－

目 的		消費者が消費生活を安心して送れるよう様々な検査や周知啓発を行うことで消費者の保護に取り組みます。		
概 要		- 消費生活の中で適正な計量が行われるよう、計量検査及び周知啓発に取り組み、また、販売品の適正表示について、実店舗への立入検査を実施します。 - 食の安全・安心など、消費生活を送る上で生じる様々な問題に対する消費者の意識を高め、誰もが気軽に参加して理解を深めることができる事業を支援します。		
成果指標	指標名	販売品の適正表示検査数に対する適正件数の割合	目標値 (2019年度)	100%
	指標設定理由	検査の結果、適正件数が増えることは、消費者保護につながることを示し、安全・安心な消費生活が実現することにつながるため。	現状値 (2015年度)	90%
単位施策を推進する個別の計画				

めざすべき都市の状態 2 1

「地域の中で雇用の場が確保され、いきいきと働いていること」

■成果指標 1：就業地別有効求人倍率

現状値 (2015年度)	1.16倍 (2014年度)	目標値 (2023年度)	1.24倍
-----------------	-------------------	-----------------	-------

現 状 認 識

15歳以上65歳未満の生産年齢人口が減少することによって、求人募集数と求職希望者数のバランスが崩れ、計画した人材が確保できないなど、企業活動に影響が出ています。

建設業や製造業の就労者が減少し、介護・福祉といった新たなサービス業の就労者が増加するなど、就業構造が変化しています。

将来展望を踏まえた課題

生産年齢人口が減少していく中で、新たな雇用機会を創出し、市外・県外からの労働力確保を図るなど、地域での雇用を維持する必要があります。

就業構造が変化していることから読み取れるように、求職者のニーズに合った雇用機会の確保や就労支援、雇用環境の整備に向けた支援をする必要があります。

行政の使命（ミッション）

ハローワーク鈴鹿と連携して、求職者の求める雇用環境整備に向けた支援を行います。

施策－２１１：誰もが安心して働ける労働環境づくり

－担当部：産業振興部－

【施策の概要】

それぞれの能力を発揮しながら安全にいきいきと働くための就業・雇用環境整備に向けた支援を充実させます。

◇単位施策－２１１１：雇用環境の整備と就業の場の確保

－担当課：産業政策課－

目 的		求職者が就業希望を実現しやすいように環境整備に向けた支援や就労支援に取り組みます。		
概 要		・高齢者雇用，職業訓練などに対する支援など，雇用・労働に係る支援を行います。 ・創業や起業に向けた支援，鈴鹿市外からの若年者などの就業希望者を本市の求人募集企業にマッチングさせるといったＵＩＪターン就職支援に取り組みます。 ・共同作業場，共同倉庫の管理運営を行います。		
成果指標	指標名	ハローワーク鈴鹿管内のうち，鈴鹿市内の就職率	目標値 (2019年度)	32.0%
	指標設定理由	求職者の就職率が高まることは，求職者が求める雇用環境の実現につながるため。	現状値 (2015年度)	25.5% (2014年度)
単位施策を推進する個別の計画				

◇単位施策－２１１２：勤労者福祉の増進

－担当課：産業政策課－

目 的		勤労者の福利厚生向上を図り、働きやすい環境を整備します。		
概 要		・ 中小企業の勤労者に向けた福利厚生事業を支援します。 ・ 労働福祉会館の管理運営を行います。 ・ 中小企業退職金共済制度などの加入促進に取り組みます。		
成 果 指 標	指標名	中小企業退職金共済制度など奨励事業補助金の適用を受ける勤労者数	目標値 (2019年度)	500人
	指標設定理由	中小企業退職金共済制度など奨励事業補助金の適用を受ける勤労者数が増加することにより、勤労者の福利厚生が向上することは、働きやすい環境の整備につながるため。	現状値 (2015年度)	400人 (2014年度)
単位施策を推進する個別の計画				

めざすべき都市の状態２２

「地元のモノ・コトが情報発信され、人が訪れ、交流が進んでいること」

■成果指標１：観光レクリエーション入込客数

現状値 (2015年度)	464万人 (2014年)	目標値 (2023年度)	550万人
-----------------	------------------	-----------------	-------

現 状 認 識

余暇の過ごし方が幅広くなってきている中、「観光」の多様化が進んでいます。また、国内外からの観光誘客の必要性が高まっています。

そのため、様々な地元の情報を国内外へ発信することにより、集客・交流人口の増加につながります。

一方で、本市の地域資源を活用した新商品の開発及びその販路開拓に取り組む中小企業が少なくなっています。

将来展望を踏まえた課題

市内集客施設やイベントの魅力を再発掘し、地域資源の活用を促進する必要があります。

また、地域資源を活用した新商品の開発や販路開拓に取り組むなど、積極的な事業展開を図る事業者を育成する必要があります。

行政の使命（ミッション）

集客施設や伝統的工芸品、農水産品などの地域資源を生かして新たな魅力を創造するとともに、東京オリンピック・パラリンピックなどの世界が注目する機会を捉え、その情報を国内外に対して継続的に発信していくことで、集客・交流人口の増加を図ります。

施策－２２１：地域資源の活用による集客・交流人口の増加

－担当部：産業振興部－

【施策の概要】

地域資源である、モータースポーツ・ものづくり技術・農水産品・伝統産業・文化・歴史・自然・特産品などを活用し、集客・交流を促進します。

◇単位施策－２２１１：地域資源の活用の促進

－担当課：地域資源活用課－

目 的		本市の様々な地域資源の付加価値を高め、活用を促進するため、新商品・新サービスの開発、新たな市場化を進めます。		
概 要		・２０２０（平成３２）年の東京オリンピック・パラリンピックなどの好機を捉え、地域資源を活用した新商品の開発及び販路の開拓に対して支援を行い、地域ブランドのPRにつなげます。 ・本市の世界に誇る伝統産業である伊勢型紙や鈴鹿墨において、人材確保及び後継者育成の支援を行います。		
成果指標	指標名	地域資源を活用した新商品の販路開拓件数	目標値 (2019年度)	10件
	指標設定理由	新たな市場化をめざし、地域資源を活用した新商品の販路開拓件数が増加することは、本市の様々な地域資源の付加価値を高め、活用を促進することにつながるため。	現状値 (2015年度)	2件 (2014年度)
単位施策を推進する個別の計画				

◇単位施策－２２１２：観光などによる集客・交流の促進

－担当課：地域資源活用課－

目 的		地域資源を活用し，より多くの情報を発信することで，人の交流を盛んにします。		
概 要		・地元のイベントや地域物産，資源素材などの情報発信を推進します。 ・地域資源を創出し，情報発信をすることにより交流人口の増加を図ります。		
成果指標	指標名	鈴鹿市旅館業組合加入施設の市内の宿泊者数	目標値 (2019年度)	465,000人
	指標設定理由	宿泊者数を増やすことは市内の集客・交流人口増加につながるため。	現状値 (2015年度)	421,652人 (2015年)
単位施策を推進する個別の計画		鈴鹿市観光振興方針		

◇単位施策－２２１３：モータースポーツの振興促進

－担当課：地域資源活用課－

目 的		モータースポーツの振興促進による交流人口の増加を図ります。		
概 要		・地域資源であるモータースポーツ振興の促進を図るため，市民がモータースポーツに触れる機会を提供します。 ・鈴鹿のモータースポーツに関する情報を市内外に様々な情報発信媒体を用いて発信し，モータースポーツ交流人口の増加を図ります。		
成 果 指 標	指標名	モータースポーツイベント（F 1※， 8耐及びモータースポーツファン 感謝デー）への来場者数	目標値 （2019年度）	376,000人
	指標設定 理由	イベントへの来場者数が増加する ことは，モータースポーツの振興に つながるため。	現状値 （2015年度）	342,000人 （2015年）
単位施策を 推進する 個別の計画		鈴鹿市観光振興方針		

※F 1…鈴鹿開催は，2018（平成30）年まで決定されており，以降は未定となっています。